

- 1
- | | | | |
|-------------|-----------|----------------|------------|
| (1) 731 | (2) 83 | (3) 597 | (4) 434 |
| (5) 92 | (6) 534 | (7) 6 | (8) 33 (L) |
| (9) ⑦ 1 (m) | ⑧ 25 (cm) | (10) ⑦ 10 (時間) | ⑨ 15 (分) |
| (11) 火 (曜日) | (12) 64 | (13) 4 | (14) ウ |
- ((9), (10) 各完答)
- 2
- | | | |
|-----------|------------|------------|
| (1) 68 kg | (2) 200 kg | (3) 169 kg |
|-----------|------------|------------|
- 3
- | | |
|-----------|-----------|
| (1) 55555 | (2) 18 番目 |
|-----------|-----------|
- 4
- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| (1) 14 cm | (2) 12 cm | (3) 6 まい |
|-----------|-----------|----------|
- 5
- | | | |
|---------|---------|----------|
| (1) 0 点 | (2) 8 点 | (3) 4 通り |
|---------|---------|----------|

(配点) ; 各4点 × 25

- ①(5) $\square - 17 = 75$
 $\square = 75 + 17 = \underline{92}$
- (6) $751 - \square = 217$
 $\square = 751 - 217 = \underline{534}$
- (8) $10\text{dL} = 1\text{L}$, $1000\text{mL} = 1\text{L}$ より,
 $300\text{dL} + 3000\text{mL} = 30\text{L} + 3\text{L} = \underline{33\text{L}}$
- (9) $100\text{cm} = 1\text{m}$, $10\text{mm} = 1\text{cm}$ より,
 $300\text{cm} - 1750\text{mm} = 300\text{cm} - 175\text{cm} = 125\text{cm}$
 $= \underline{1\text{m}25\text{cm}}$
- (10) $6\text{時間}54\text{分} + 3\text{時間}21\text{分} = 9\text{時間}75\text{分}$
 $= \underline{10\text{時間}15\text{分}}$
- (11) かんたんなカレンダーを書くと下のようになる。
 日 月 火 水 木 金 土
 4/29 4/30 5/1 5/2 5/3
 5/4 5/5
 よって、4月29日は火曜日。
- (12) まちがった計算；ある数 + 8 = 16
 → ある数 = 16 - 8 = 8
 正しい計算；ある数 × 8 = 8 × 8 = 64
- (13) ㊦㊧は、もっとも大きくて54。
 $54 + 987 = 1041$ より、㊦ = 1, ㊧ = 0
 ここで、一の位の7から、㊨ = 2, ㊩ = 5 ㊦㊧㊨㊩
 のこった数は3と4。これを㊰と㊱に入れ - ㊰㊱
 てたしかめてみると、㊰ = 3, ㊱ = 4 と 987
 わかる。
- (14) ㊰をまちがえたとき； $9 - 8 + 5 + 2 = 8 \dots \times$
 ㊱をまちがえたとき； $9 + 8 - 5 + 2 = 14 \dots \times$
 ㊰をまちがえたとき； $9 + 8 + 5 - 2 = 20 \dots \times$
 よって、まちがえたのは㊰。

- ②(1) 線分図であらわすと下の図のようになる。
-
- よしだ山 31kg
 さなだ山 37kg
 どうかん山
- 上の図から、 $31 + 37 = \underline{68(\text{kg})}$
- (2) よしだ山 + さなだ山 = $332(\text{kg})$
 ↓ + 68kg ↓ + 68kg
 よしだ山 + よしだ山 = $400(\text{kg}) = 200 + 200$
 よって、よしだ山の体重は200kg。
- (3) $200 - 31 = \underline{169(\text{kg})}$

- ③(1) $1/2, 22/3, 33, 333/4, 44, \dots$ という
 きまりになっている。555は13番目の数なので、あと
 2こ。続きは、5555, 55555。
- (2) 16番目の数は6。17番目の数は66。よって、666
 は18番目の数。
- ④(1) 右の図で、㊱は一
 番大きい正方形の
 1辺なので8cm。
 黒くぬった正方形
 は一番小さいので
 1辺は1cm。
 ○と●が3cmと4
 cmなら㊰にあては
 まる長さがなくて、○は2cm, ●
 は3cmとわかる。
 よって、□は4cm, ■は5cm。
 ここで、 $8 + \text{㊰} = \text{㊲} + 5 + 4$ ㊰と㊲は6cmと7cmなので、
 ㊰が7cm, ㊲が6cm。よって、 $\text{㊳} = 8 + 6 = \underline{14(\text{cm})}$
- (2) 求める長さは、上の図の太い点線の長方形のまわりの長さ
 と同じ。★ = $5 + 4 - 3 - 2 = 4(\text{cm})$
 よって、 $4 + 2 + 4 + 2 = \underline{12(\text{cm})}$
- (3) ななめの線をひいた部分を、1辺の
 長さが1cmの正方形で区切ると右の
 図のようになる。よって、6まい。
-

- ⑤(1) 箱の数とボールの数がすべて同じとき、0点になる。
- (2) ①と④の箱の数のちがいはもっとも大きくて、 $4 - 1 = 3$
 ②と③の箱の数のちがいはもっとも大きくて、2。
 ①と④の箱で数のちがいを3ずつにすると、②と③の箱に
 2と3のボールを入れることになる。このときは最も大き
 くて1ずつ。
 このような入れ方をすると、 $3 + 1 + 1 + 3 = 8(\text{点})$
 ①と④の箱で数のちがいを3と2にすると、②と③の箱の
 数のちがいは、大きくても $2 + 1 = 3(\text{点})$ まで。このとき
 は、 $3 + 2 + 2 + 1 = 8(\text{点})$
 よって、8点より大きくなることはないので、もっとも大
 きい点は8点。
- (3) 8点になる入れ方は、(2)で考えた入れ方と、数のちがいが
 すべて2になる入れ方がある。よって、(4, 3, 2, 1),
 (4, 3, 1, 2), (3, 4, 2, 1), (3, 4, 1, 2)
 の4通り。

(配点) ; 各4点 × 25